



大津市報道資料
市政記者各位

お問い合わせ先

担当者	長等創作展示館 担当： 山田				
連絡先	077-523-5101 内線				
総合計画 位置付け	基本 方針	基本 政策	施策	取組の 方向性	主な 取組
	2	8	20	1	1

令和6年6月6日

三橋節子没後50年プレ回顧展 セツコ・リターン



展示替えのご案内

三橋節子 没後50年プレ回顧展 「セツコ・リターン」

【会期】 2024年6月1日(土)～12月26日(木)



「人間の中心に愛と死がある、それを芸術は語るのだ。その例が向こうから飛び込んできた。」
哲学者の梅原猛氏は、節子のことを初めて知った時の感想をそう語りました。

35歳の若さで2人の幼子を残し逝った日本画家 三橋節子

節子は、初期の主に“野草”を描いた時期からインドの研修旅行後人物画に目覚めた時期、宮沢賢治の作品や三井寺の物語画を描いた時期を経て、右肩鎖骨腫瘍で利き腕切断、左手に絵筆を持ち替えてもなお余命いくばくもない中「近江昔話」を題材にした大作を最後まで描き続けました。

来年、没後50年を迎えるにあたり、彼女の人生と画業を振り返るプレ回顧展を、一部展示作品を入れ替え、引き続き開催します。

彼女の作品に加え、梅原猛氏の言葉や、貴重な思い出の写真や家族への手紙などの資料も併せてご覧いただけます。

この機会に、短くも濃密であった彼女の人生と画業を振り返るとともに、
彼女の心に触れてご鑑賞いただければ幸いです。